

# 週刊 鋼構造ジャーナル

2021  
6/14 NO. 2035

週刊(毎週月曜日発行)／購読料・1カ年52,500円、6カ月28,500円(税・送料込み)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中貴士 編集人・大熊稔／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077／大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603／札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636／振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873／郵便振替口座 東京00130-9-13713

6月14日

鋼構造ジャーナル

(第三種郵便物認可) 第2035号

## 「青年部」として事業を開始 鳥取県鉄構工業会・次世代の会 通常総会を開催



倭島会長

鳥取県鉄構工業会の次世代の会(会長⇨高橋健二・高橋専務、会員数11人)は5月28日、倉吉市のセントパレス倉吉で定例会を開き、

鳥取県鉄構工業会は今年度から青年部として事業を開始することを決めた。会長に倭島考史氏(和島鉄工所専務)、副会長には西原泰仁氏(大照建工専務)が就任した。

当日は通常総会を開催し、

- ①会員同士の情報交換や交流会で親睦を深め業界の発展に寄与する
- ②若者らしく何事にも挑戦し「地域発展」に努める
- ③の2項目を方針とする事業計画案を審議・可決した。主な事業として、①各会員企業の製品や技術を組合HPで紹介
- ②技術講習会
- ③事業を通じ



「青年部」が始動

た親睦強化——などを推進する。具体的には溶接ロボットの講習会などを計画している。今後は中国ブロックや全国鐵構工業協会青

## 埼玉県鉄構業協組 「固形タブ技量付加試験」

### 溶接技能者15人が受験

埼玉県鉄構業協同組合(理事長⇨新井公雄・アラコウ会長)は5月28日、川

いるもの。合格者には3年間の有効の証書が発行され、

県発注の耐震補強工事・鉄

確保などコロナ対策が施される中、実技試験に臨んだ。

実技終了後には組合技術委員会本部委員と埼玉県溶接協会担当者立ち会いのも

と、その場で外観検査が行われ、全員が合格した。こ